製品型番 PCSF-350P-X2S

作成年月日 2006年11月10日

適用範囲

A

本仕様書は、機器組込型直流安定化電源装置 型番: PCSF-350P-X2S, -X2S-Q に適用する。 尚、本仕様書全項目中、特に指示無き場合は常温・常湿環境条件にての規定とする。

一般仕様

	項目	仕様・規格	測 定 条 件 等
	定格電圧	AC100 - 240V	入力切替不要
	電圧許容範囲	85(<i>注1</i>) ~ 264V	
入	入力電流	3.4A typ(100V 入力時) / 1.4A typ(240V 入力時)	
カ	定格周波数	50 / 60 Hz	許容範囲 47Hz ~ 63Hz
仕	 突入電流 (<i>注 2</i>)	31A peak 以下(100V 入力時)	定格出力時、入力再投入間隔10秒以上。
様		75A peak 以下(240V 入力時)	ュールト、スタート (25°C)
	力率	96%typ(100V 入力時) / 90% typ(240V 入力時)	定格出力時
	効率	73%typ(100V 入力時) / 77% typ(240V 入力時)	た行口ノ州
A	使用温/湿度	0 ~ 60℃(注3) / 10 ~ 90%RH	結露無き事
		0 ~ 55℃ (安全規格取得温度範囲)	
環境	保存温/湿度	-20 ~ 70°C / 10 ~ 95%RH	結露無き事
仕	振動	加速度 2G、振動数 10~55Hz、	JIS-C-60068-2-6
様	1/2/277	X, Y, Z 三方向共掃引サイクル数各 10 回に耐える	非動作時
"	衝撃(面落下)	底面の一辺を軸として傾大、高さ50mmより落下させる。	JIS-C-60068-2-31
		4底面共各3回落下させ機能を損じないこと。	非動作時
	絶縁抵抗	入力 対 FG 及び 出力一括接続間、50MΩ 以上	DC500V にて
絶	絶縁耐電圧	入力 対 FG 及び 出力一括接続間	カットオフ電流 20mA
縁	1-77	ACI. 5kV/1分間	
	漏洩電流	0.5mA 以下(100V 入力時) / 1mA 以下(200V 入力時)	YEW. TYPE3226 相当品(1kΩ)
-		/1.2mA以下(240V入力時) ±2,000V(パルス幅 100/1000ns、繰返し周期 30~	 INS-410 にて測定。出力の直流的変動及び
	ラインノイズ試験	100Hz、/-マル/コモンモード・正/負極性各 10 分間)	110-410 に く例だ。山川の直加町変動及い 誤動作の無き事
E		IEC 61000-4-5 設置環境クラス 3 準拠。コモンチード: ±2kV、	The state of the s
M S	サージ・イミュニティ試験	150 01000 4 0 版画 (827/1/10 年) 153 174 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	誤動作・故障無き事(AC100V/240V 入力時)
	静電気放電イミュニティ	IEC 61000-4-2 試験\\\^\`\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
E	試験	接触放電: ±6kV、10回	誤動作・故障無き事(AC100V/240V 入力時)
М	雑音端子電圧	VCCI/FCC/EN55022クラスA準拠	電源単体にて測定
I	高調波電流	IEC 61000-3-2 クラス D に準拠	定格入力、定格出力時
A		UL60950、CSA60950(c-UL)、CCC(S&E) 取得 人	
	安全規格	CE マーキング (IEC62368-1)、電安法準拠	クラスI機器、機器組込型電源として取得。
	冷却方式	強制空冷	(注4)
\(\frac{1}{4}\)	外形寸法	125(幅)×63.5(高さ)×125(奥行)	突起物を除く。別紙外形図参照
そ	質量	1. 2kg typ	
の	信頼性グレード	FA	弊社規定による
他		10年以上(-X2S-Q は7年以上) <u>(</u> A	AC100V 入力/定格出力/周囲温度 25℃にて
	製品期待寿命	(有効寿命部品:電解コンデンサ、ファンモーター)	連続運転した場合の推定寿命時間
	M. T. B. F.	70,000 時間以上	EIAJ RCR-9102 に基づき算出 / 込 ド
	無償修理期間	納入後3年間とし、弊社の責任による不具合品が発	本仕様書範囲外にての
<u> </u>		生した場合無償修理または交換とする。	誤使用等による場合を除く 23.7.
注1	連続定格時の入力電圧	F下限値 瞬時定格時の入力電圧下限値等については	別紙デルーテング条件に其づく車

注1.連続定格時の入力電圧下限値。瞬時定格時の入力電圧下限値等については、別紙ディレーティング・条件に基づく事。(場)ニア

注2入力/イズフィルタ部 メーコンデンサへのマイクロ秒オーダー(100μs以下)の突入電流については規定しない。

注3.周囲温度が40℃を越える場合は、別紙デルーティング条件に基づく事。

注4. 通常運転状態から PS_ON 信号により電源を停止させた場合、電源内部部品温度の一時的な上昇による信頼性低下を避ける為、電源内部部品温度が下がるまでの間、ファンモークーが回転し続ける。(回転し続ける時間は電源周囲温度・負荷状態により変化する)又、待機時(PS_ON 信号'H'または'OPEN'時)に電源内部部品温度が高温となった場合も同様にファン モークーが回転する。

<u></u>	2008. 12. 27	I-201230	佐伯	Æ×1	2023, 06, 01	I-350601 CCC 認証抹消	内田
ÀX×2	2008, 05. 15	I-200513 (-X2S-Q 追加による変更)	淀	Æ×1	2020. 07. 21	I-320711 安全規格改定(IEC62368-1 対応)	内田
<u></u> A×2	2008. 05. 13	I-200506(安規取得による変更)	淀	<u></u> <u>∧</u> ×1	2009. 10. 02	I-210934(CCC 規格取得)	淀
変記	年月日	変更記事	担当	変記	年月日	変更記事	担当

作成 辰 巳 検図

承認 (73, 6, 22 (73)

図面番号

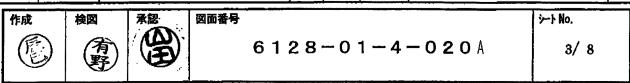
6128-01-4-020F

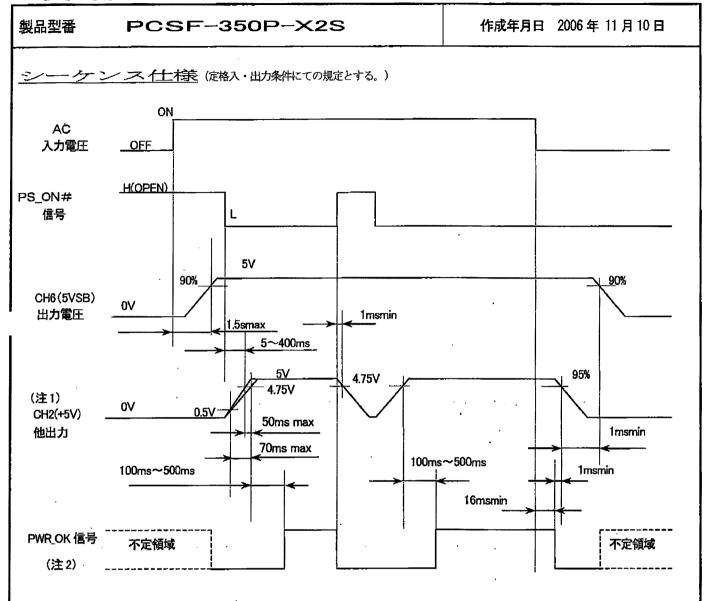
シート No.

1/8

劃	品型		PC	SF	-35	 OP-	-×25			作成年月日 2006 年 11 月 10 日
] 产品间	コネクタの接触抵抗による電圧降下分は含まない)
[L	1/	J1_1_1%		(電圧例)	- 40017 IV 4-1E	СНЗ	CH4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	CH6	一
		項目		CH1	CH2	(1271)	(1272)	CH5	(5VSB)	測 定 条 件 等
	完本	各出力電圧	(y)	+3.3	+5	+12	+12	-12	+5	
	-	小出力電流	(A)	0	0	0	0	0	0	
	<u> </u>	定格出力		8	8	6	8	0. 5	2	入・出力特性測定時の基準値
	定格	定格出力		26. 4	40	72	96	6	10	定格総合出力電力 250%(別紙ディルーティング・条件参照)
	:#r	最大出力		14	16	10	16	0, 5	2	A THE PROPERTY OF THE PROPERTY
出	続	100 (100)		46. 2	80	120	192			連続定格
カ	連続最大定格	最大出力	電力〔W〕	9	0		20	6	10	最大総合出力電力 250₩
定	格	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				合計 250	₩以下の薬	<u> </u>	<u> </u>	- (別紙ディレーティング・条件参照)
格	163			20	21	16	22	0.8	3	
	瞬時最大定格	瞬時出力	電流〔A〕	2	 5	22	2. 5	-	-	瞬時定格(5 秒間以内) 瞬時総合出力電力 350W
	茶			66	105	192	264			瞬時出力電流を繰り返し流す場合の時比率10%
	椿	 瞬時出力	電力〔W〕	12	20	2'	70	9.6	15	以下(下記図1及び別紙ディルーティング、条件参照)
						合計 350	W以下の	<u> </u>	L	- CH4 のみ 0.5 秒以内
			+ 4-45							上記入力・負荷変動1に、温度・経時ドリフトを
ж	総	合定電圧精	度 [%]	<u> </u> ±5	±5	±5	±5	±5	±5	含めた定格出力電圧値に対する精度
出力特性	リッ	プル電圧〔	(mV p-p)	50以下	50以下	80 以下	80 以下	80 以下	50 以下	電解コンデンサ(10 μF)ともラミックコンデンサ・(0.1uF)を接続した測定板上で
性	, ,	Para ° / herrir □	- (v)	100 017	100 %		000 PLE	000 8	100 00	100Miz のオシロにて測定する。測定板は負荷線と分離させ出力端子から
) <i>991</i>	"ルスパ" イク電圧	F (MAD-b)	100以下	100以下	200 以下	200以下	200 以下	100 仄	150mm 以内の場所に設ける
	温	方式		垂下→ CH1~5 出力停止			垂下/	全出力断	CH6 短絡時全出力停止(自動復帰)	
	過電流短絡	動作値	[A]	21以上	22以上	17 D F	17以上	短路保護	短格保護	CH1 測定時 CH2 5A。CH2 測定時 CH1 4A その他定格。 CH3, CH
,,,	复	awil Line	(,,)	21 001	2411	11001	(>0.5s)	AMPHOPMENT.	MANAGE	は他CH無負荷。その他のCHは定格電流で測定する。
保護回路·	神红	復帰方法		7.7	再投入(間隔 10s J	以上)	自動復	帰(※1)	※1. CH5: 又は入力再投入
路		動作値(V)		3.76	5. 74	13. 4			_	
・そ	過電圧			~4.3	~7.0		5. 6			
その他	庄·	方式		CH 1	~CH5 出力		_		ツエナー	
		復帰方法		入力再投入(※2)				_	クランプ	※2. 入力再投入は10秒間以上経過後とする
		国王ロックアウト			AC入力		- CC CH1~	5 出力停止	-	
	各出	出力 GND 間の					共通接続			電源筐体と共通
			時最大出力			_	. 4.1.			図 2. <u>リップル・スパイクの定義</u>
		出力電流・電: 10%以下として		か何以内とし	、裸り返し	使用の場合	ii.			
叶口	C==5-1	10% K FCC			4110					I ^
			t≦5秒		UH3	: t ≦0. t/T;				$\bigvee_{v_1} \bigvee_{v_2}$
			t/T≦	:0.1		τ/Ι:	≟ ∪. I			Y — Y — J
	_					_				
		\rightarrow	<u>₹</u>							リップル: V1 (p-p)
										ノイズ: V2 (p-p) (16.7,28)
				7						佛ラプロン
										技術管理
変記		年月日		変り	記事	<u> </u>	担当	変記 変記	年月日	変 更 記 事 担当
	作成	克 市	食図	承認	図面	番号				ે− No.
	(F)		(意)	凰)	6	512	8 – 0	1 – 4	4-020 2/8
- 1	1		學儿		7 .]					, -

· · · · · ·	番	CSF-350P-X2S		作成年月日 2006年 11月1	0日
言号	-人 - 出	力仕様			
	項目		仕	様	
J. P.	s_on#	'L'入力時 CH1〜5を出力する。 'H'又は'OPEN'入力時 CH1〜5を停止			
†) +:	3. 3V SENSING	CH1(+3.3V)出力の電圧検出用入力端子で、十 する。(別紙負荷接続コネクター電流配分表		る事により出力ケーブル等の十側の線路降下	電圧を相
H P	WR_OK	CH2(+5V)出力ON時に、H'信号を出力する	5.		
_ե F	AN_MI AN_M2	ファンモーター 1回転あたり2周期の矩形が ファン故障等による停止時ば L '又ば 0PE		矩形波の時比率は 0.6(typ)とする。 止する。 (-X2S-Qは この信号の出力は無し)	<u> </u>
	PS_C	N信号入力回路			
	内部 +5° 5.6k 5.6k 10k				
	PWR_OF	信号出力回路		FAN M信号出力回路	•
				• •	
	内部 +5V 1 k Ω	外部 < 		内部 外部 +5VSB 	
	+5V		Q1	+5VSB 4.7kΩ Iin (1kΩ以上) V0 Q1 お時 Iin≤5mA V0≤0.8V	7, 28
	+5V _ρ	【in	_	+5VSB 4.7kΩ Iin (1kΩ以上) V0 Q1 お時 Iin≤5mA V0≤0.8V	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+5V _Q 1 k Ω · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	【in	_	+5VSB 4.7kΩ Iin (1kΩ以上) V0 Q1 お時 Iin≤5mA V0≤0.8V	7, 28





注1. CH2(+5V)以外の出力も電圧値以外これに準じ、CH2(+5V)との出力電圧立上り時間差は50mS以下とする。 さらに出力電圧立上り時のCH2(+5V)とCH3(+12V)の出力電圧レベルはCH1(+3.3V)の出力電圧レベル以上とし且つ、CH2(+5V)と CH1(+3.3V)の出力電圧レベル差は2.25V以下とする。尚、各出力電圧立下り時の順位及び、出力電圧レベル差については規定しない。

注2. PMR_OK信号の立上り・立下り時間は100μs以下とする。(PMR_OK信号出力に容量性負荷を接続しない条件にて)



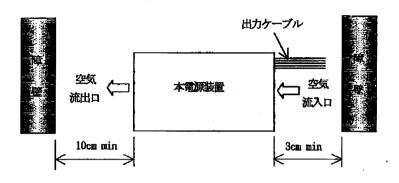
l							
							1
f			ı				
変記	年月日	変更記事	担当	変記	年月日	変更記事	担当
OC. RL	-T-77 F4	久人HU子		37-14-0	1,4,1,	P-24HD 7	

製品型番 PCSF-350P-X2S

作成年月日 2006年 11月10日

設置条件

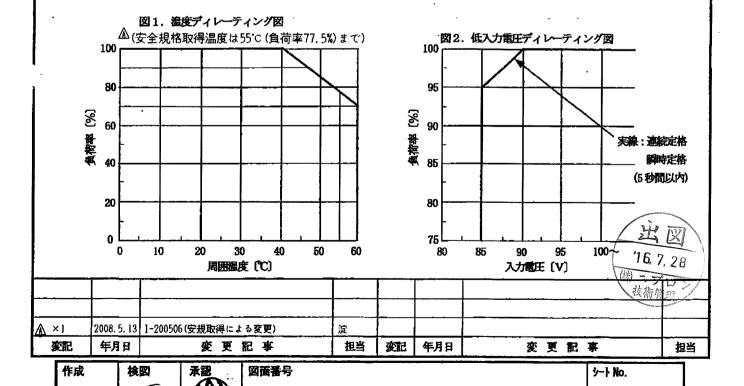
- 1. 本電源装置の空気流入・流出口に隣接する障壁より下記寸法以上離し設置する事。
- 2. 本電源装置の空気流入口付近の温度が最高使用温度を越えない環境に設置する事。



ディレーティング条件

高温環境にて使用する場合、低入力電圧にて使用する場合は、下記1~2項に基づき出力電流/電力を低減する事。但し、連続定格については出力仕様で規定される+5VSBを含む各CH毎の最大出力電流値を負荷率 100%とし、且つCH1,2の最大出力電流合計値・CH3,4の最大出力電流合計値・CH1~6の最大出力電流合計値を負荷率 100%とする。瞬時定格については上記同様各CH毎の瞬時出力電流値を負荷率 100%とし、且つ CH1,2の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3,4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値・CH3、4の瞬時出力電流合計値を見荷率 100%とする。

- 1. 周囲温度(空気流入口付近の温度)が 40℃を越える場合、連続定格・瞬時定格共 下配図1で示される負荷率に従い使用する事。
- 2. 連続定格及び興時定格(5秒間以内)にて入力電圧90V以下で使用する場合、下記図2の実験で示される負荷率に従い使用する事。 尚、周囲温度が40℃を越える場合は、図2による負荷率と 図1による負荷率とを乗じた負荷率で使用する事。



株式会社 ニプロン

6128-01-4-020A

5/8

製品型番

PCSF-350P-X2S

作成年月日 2006年 11月10日

負荷接続コネクター電流配分表

負荷接続コネクターより連続して取り出せる最大電流は下表の通りとする。但し、各出力毎の合計電流は出力仕様で規定される最大出力電流を越えない事。

コネクター名	ピン番号	出力(信号)名	最大ピン電流	備 考
	1	+3. 3V DC	6. 0A	
	2	+3. 3V DC	6. 0A	
	3	COM	6. 0A	
	4	+5V DC	6. 0A	
	5	. COM	6. 0A	
	6	+5V DC	6. 0A	
	7	COM	6. 0A	
	8	PWR_OK	10mA	信号出力 .
	9	+5VSB	2. 5A	
	10	+12V1 DC	6. 0A	
MAIN	11	+12V1 DC	6. 0A	
(出力1/Output1)	12	+3. 3V DC	6. 0A	
	13	+3.3V Sense	10mA	+3.3V センシング入力
·	14	-12V. DC	0.8A	•
	15	COM	6. 0A	
	16	PS_ON#	1 0 mA	信号入力
	17	COM	6. 0 Å	
	18	СОМ	6. 0A	
	19	СОМ	6. 0A	
•	20	(NC)	_	
,	21	+5V DC	6. 0A	
	22	+5V DC	6. 0A	
	23	+5V DC	6. 0A	
	24	COM	6. 0A	

作成	検図	承認	図面番号		シート No.
E	有野			6128-01-4-020	6/8

製品型番

PCSF-350P-X2S

作成年月日 2006年 11月10日

負荷接続コネクター電流配分表

負荷接続コネクターより連続して取り出せる最大電流は下表の通りとする。但し、各出力毎の合計電流は出力仕様で規定される 最大出力電流を越えない事。

コネクター名	ピン番号	出力(信号)名	最大ビン電流	備考
	1	+3, 3V DC	6. 0A	
	2	+5V DC	6. 0A	
	3	COM	6. 0A	
	4	COM	6. 0A	
HD ·	5	+12V1 DC	6. 0A	·
(出力 2/0utput 2)	6	+3. 3V DC	6. 0A	
	7	+5V DC	6. 0A	
	8.	COM	6. 0A	
	9	COM	6. 0A	
	10	+12V1 DC	6. 0A	
	1	COM	6. 0A	<u> </u>
	2	COM	6. 0A	
	3	COM	6. 0A	
1 2 V	4	COM	6. 0A	
(出力 3/Output 3)	5	+12V2 DC	6. 0A	
•	6	+12V2 DC	6. 0A	
•	7	+12V2 DC	6. 0A	
	8	+12V2 DC	6. 0 A ,	
	1	FAN_M1	5mA	信号出力
SIG	2	FAN_M2	5 mA	信号出力
(出力4/Output 4)※1	3	сом	10mA	,

※1. SIG(出力4)の3ピンCOMを使用する場合、FAN_M1,FAN_M2以外の出力電流がこのピンに流れないよう注意すること。

作成	検図	承認	図面番号		シート No.
(E)	育野	留		6128-01-4-020	7/8
					<u> </u>

製品型番

PCSF-350P-X2S

作成年月日 2006年 11月10日

el m

使用上の注意事項

1. 接地について 🛆 警告

本電源装置はクラス I 機器として製作されています。安全確保の為、適切な方法にて必ずアース端子(筐体)を接地し使用して下さい。

本電源装置は機器組み込み用として製作されています。高電圧部が存在しますので、感電の危険の無い様、適切な方法にて必ず 機器に組み込み使用して下さい。

3. 出力短絡について 全意

出力端子を短絡させた場合、内部コンデンサが瞬時放電し、火花発生等により重大な事故につながる恐れがあると共に、本電源 装置の寿命にも悪影響を及ぼしますので避けて下さい。

4. 入力突入電流制限回路について 🏠 注意

入力投入時、平滑コンデンサへのサージ電流を制限する為、突入電流抑制回路を内蔵しています。 入力断後規定時間を満たさずに入力再投入した場合、突入電流制限回路が動作せずに過大なサージ電流が流れ、本電源装置の故障 につながる恐れが有りますので必ず規定時間後の入力再投入として下さい。

5. パワーオン/オフ時の音について

入力投入時 及び、PS_ON信号によるパワーオンノオフ時に低周波音を発生する場合がありますがこれは高調波対策用チョークコイル等の過渡時における低周波振動に起因するものです。又、通電中(動作時・待機時)にごく僅かな低周波音を発生する場合ありますがこれも入力電源周波数による高調波電流対策用チョークコイル等の低周波振動に起因するものです。特性・寿命等には全く影響はありませんのであらかじめ御了承顧います。

6. 出力ケーブルの取り扱いについて 出力コネクタに接続された出力ケーブルのみをつかみ、製品を移動・運搬しないで下さい。製品の移動・運搬は必ず本体部を 支持し行って下さい。

						(株) 三	7. 28
						Se Marie	
WM24 B A							
							Leavie
変記	年月日	変更記事	担当	変記	年月日	変更記事	担当

作成	検図	承認	図面番号		シート No.
	實野	留		6 1 2 8 - 0 1 - 4 - 0 2 0	8/8

